

■ 形式

VSS-□□□□ (下記より選択)

設定	10 : 10 A
	20 : 20 A
	50 : 50 A
	1H : 100 A
貫通穴	10 : 穴径φ 10 mm
	16 : 穴径φ 16 mm
	24 : 穴径φ 24 mm

■ 性能

検出電流値 : 10 A以上、20 A以上、50 A以上、100 A以上
 (インパルス8/20μsにて) 4点より1点ご指定

出力ON時間: 約1ms オープンコレクタ

半導体出力 : 無電圧オープンコレクタ (フォトカプラ)
 50mA DC 30V

耐電圧 : コアと出力間 AC 1000V 1分間

使用温度範囲: -20~+50℃

使用湿度範囲: 5~85%RH以下 (結露しないこと)

絶縁抵抗 (筐体間) : 100MΩ以上 (2次-コア間)

重量: φ 10 約43g
 φ 16 約76g
 φ 24 約126g

材質: ケース ナイロン6 UL94V-0
 リセプタクルハウジング (ピンコンタクト用)

コネクタ: SMR-02V-B 黒色
 ピンコンタクト 日本圧着端子製
 SYM-001T-P0.6

プラグハウジング (ソケットハウジング用) 付属

SMP-02V-BC 黒色 1個
 ソケットコンタクト 日本圧着端子製
 SHF-001T-0.8BS 2個

適用中継電線範囲: 0.08~0.33mm²
 AWG 28~22

リード線引張り強度: 0.5N (10±5sec)

ケース脱着回数: 約100回

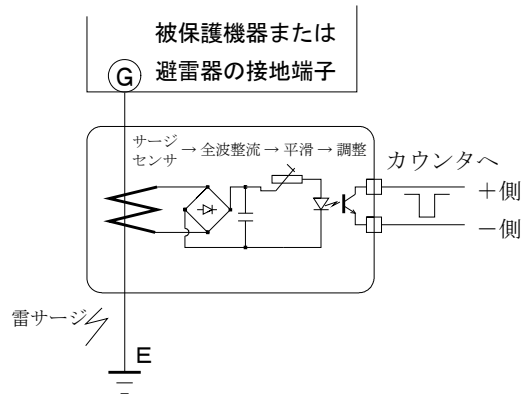
■ 用途

誘導雷サージの計数

■ 特長

- ・市販の盤面取付トータルカウンタの使用可能
 但し、入力計数速度1kHz以上対応の仕様であること
- ・センサの専用電源は不要です。
- ・省スペース

■ 端子接続図

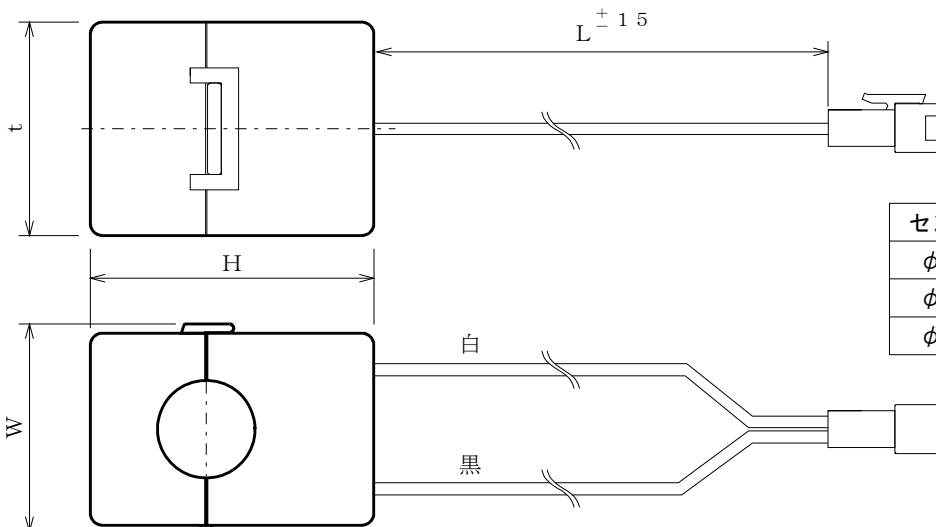


⚠ 避雷針のアースには使用しないでください。
 サージセンサの方向性はがありません。

■ 御注文に際しまして

1. 貫通穴をケーブルの外寸法にあわせてご指定ください。
2. 検出電流値は10A, 20A, 50A, 100Aの4点よりいずれかをご指定ください。
 ※ ご参考としまして通常市街地などでは10A仕様を、山間部などでは50A以上の仕様をお薦めします。

■ 外形図及び寸法 (単位: mm)



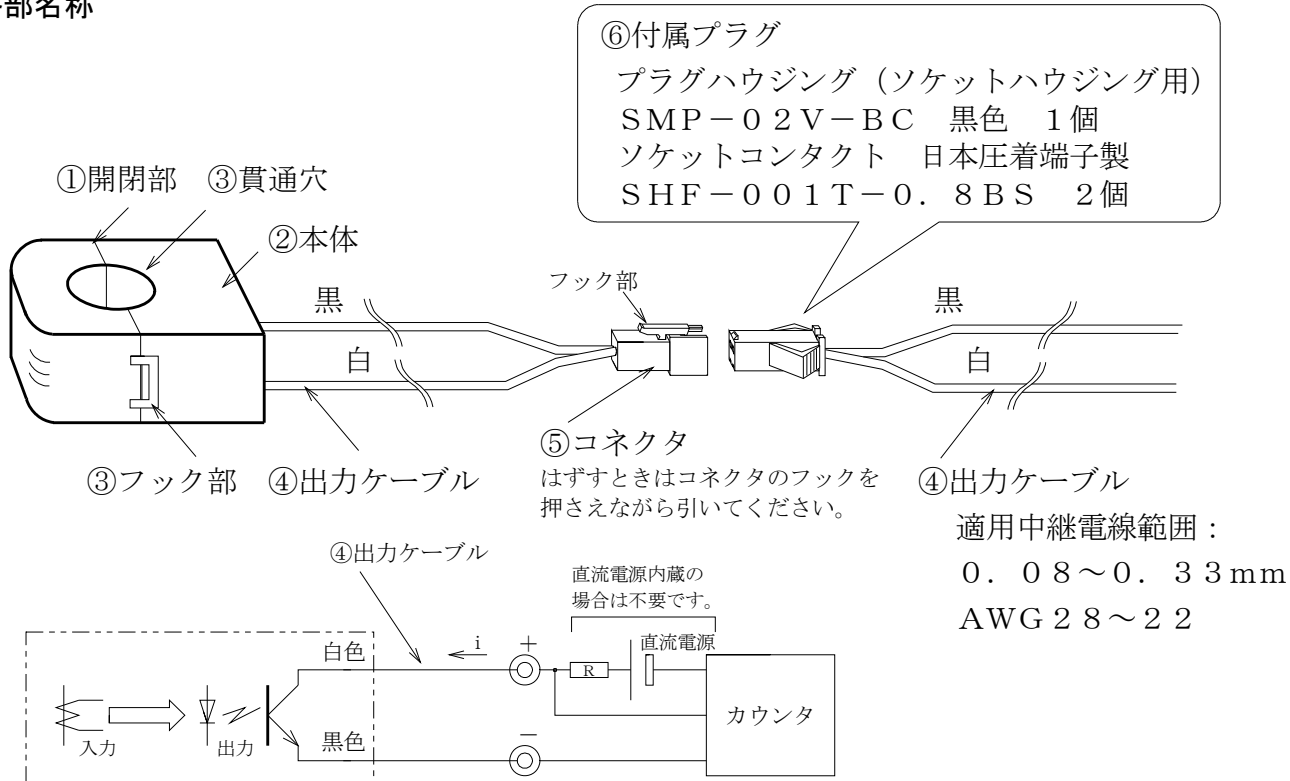
センサ穴径	L	t	H	W
φ 10 mm	110	28	40	28
φ 16 mm	120	35	47	35
φ 24 mm	165	42	66	47

※ ご採用に際しまして、実際の誘導雷サージは規格 (8/20μs) 通りのひとつの波形とは異なります。
 本器は連続したサージ電流を入力回路で平滑して大きさを分類しています。従いまして、あくまでも簡易的な機器としてお取り扱い願います。

本器は、雷害対策において電源ライン、制御ライン、電話回線などを通過する誘導雷サージを検出するためのセンサです。設定値以上のサージ電流の通過にてON信号を出力します。

本器をより効果的にご使用いただくため、事前に下記の事項をご確認ください。

■ 各部名称



注意：

コネクタをはずすときはリード線を引かないようにハウジング（プラスチック部分）を掴んでおこなってください。

■ 使用上の注意事項

- ①開閉部 設置（勘合）させる際にコア表面にゴミ、異物などを挟まないようにしてください。勘合が不十分であればはずれる可能性があります。
- ③貫通穴 1次側の線は絶縁線を利用してください。裸線は使用しないでください。
- ③フック部 開閉頻度は約100回です。
- ④出力ケーブル センサのリード線は強く引かないでください。
- ⑤コネクタ 延長ケーブルはAWG28~22でおこなってください。
参考まで AWG28：直径0.321mm 面積：0.08097mm²
 AWG22：直径0.664mm 面積：0.3256mm²
延長ケーブル作製の場合、コネクタのメーカー日本圧着端子社の資料をご確認の上加工願います。

■ 設置上の注意事項

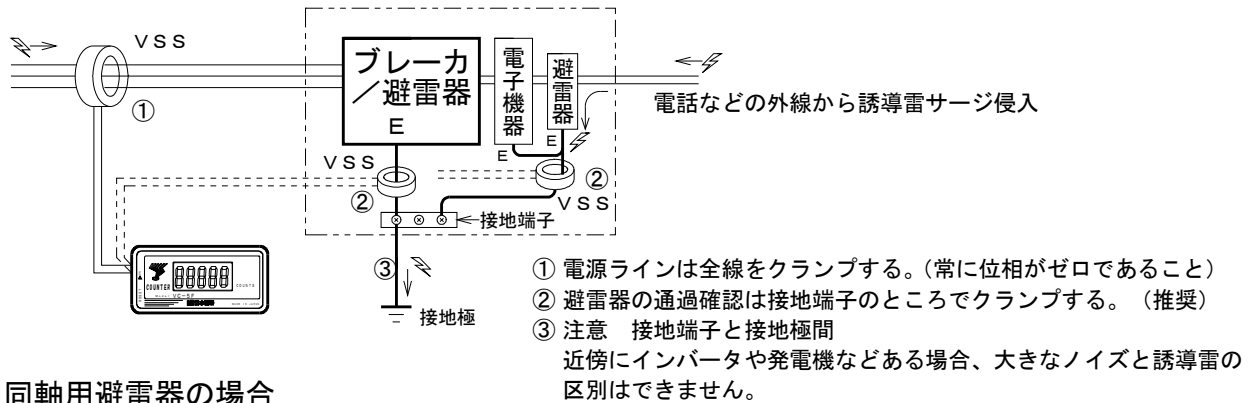
ケーブルの長さは盤内対応として4m（AWG28にて）まで確認しています。
但し、パネル内のマグネットなどのノイズの影響がないことを考慮して配線をおこなってください。
また、動力などの近傍はさけてください。（電磁波などの影響に配慮してください）

■ 保証期間

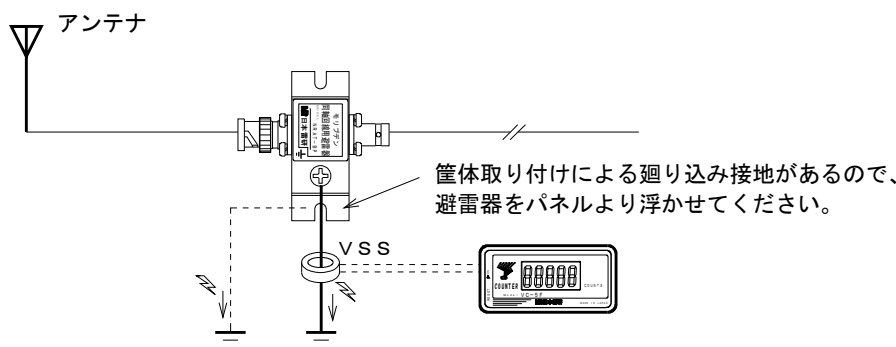
仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、1年間とします。
ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 設置方法

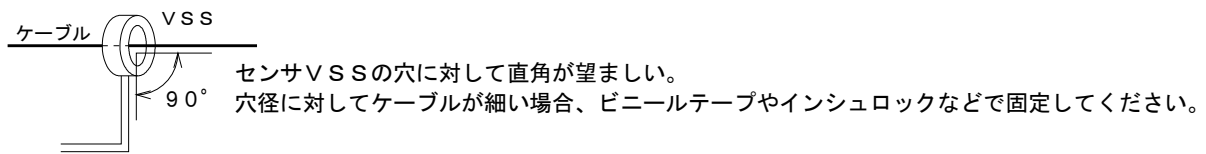
・ 電源ラインの場合



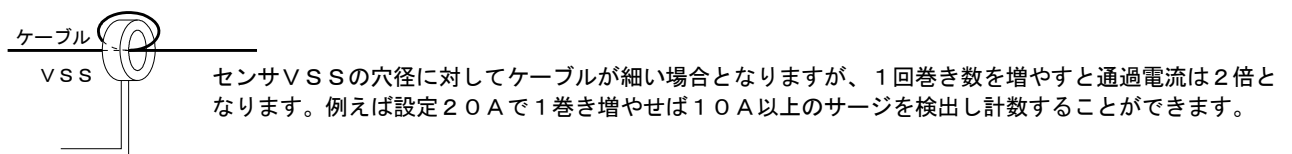
・ 同軸用避雷器の場合



■ センサのつけ方



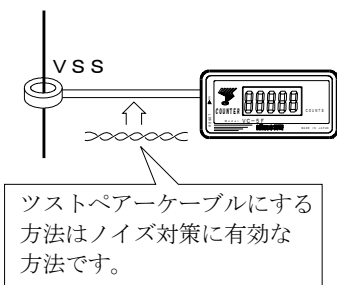
■ 設定よりさらに小さい雷サージを計数する方法



■ 設置に関する注意

近傍にノイズの発生源がある場合正しく計数しないことがあります。

- ・ 近傍にモーターなどある場合、常時ノイズが生じています。
- ・ 換気扇などある場合、スイッチのON/OFFでノイズが発生します。
- ・ パネル内用の蛍光灯のON/OFF時ノイズが発生します。



(いずれも電波受信状態で防ぎようはありませんが、シールド線を使用するか、
センサVSSの2本のケーブルをツイスト(捻じる)することで多少軽減
できることもあります。)